

# もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.36



▶蓄電池建て屋内にて

## 山際の放任園地増加が影響



▲天童市民墓地に集まるサル (＝市民の方より写真提供)

村山地域

# 鳥獣被害が拡大

被害額 5年で増加 6億7000万円超

近年、天童、山形、東根市内において鳥獣被害が深刻になっておられます。特に奥羽山脈沿いの集落には毎日のように猿が現れ、農産物に被害が出ており、稲作などの被害も多くなっています。また、畑の農作業小屋にも入り、いたずらをしてきたのは、5、6年前ほどからと記憶しておい

に、被害を止めることになっていくのです。農家が「早く里の畑が放任園地になってしまったという切実な要望を頂いてお悪循環もありました。畑と山林の垣根が短く



モンキードック 猿対策に効果

## 「被害が減った。もつと増やして」

特に近年被害が多いのが猿の被害です。集団で出没してくるので、民家に下りてくると、人への危害も懸念されます。果樹の被害は特に多く、被害額も群を抜き、農



対策事業に積極的に取り組んでおります。内容は、対策協議会に対する支援、電気柵設置、猿接近警戒システム設置などの施策です。さらには、猿、クマなどの捕獲に対する報奨金も支払っております。今年度は猿5000円、クマは10000円を支払っております。

米沢市では今年度より犬が猿を山へ追い上げる「モンキードック」を取り入れたと聞き、

10月11日、現地まで単独視察に赴きました。モンキードック作戦は、事前に捕獲された猿に、発信機をついた首輪を付け、電波をキャッチしながら猿の群れの動向を探り、山に追い上げる手法です。シェパードと一緒に行動する追い払い隊員の遠藤さんは常に犬と一緒に生活を心がけているそうです。

私が伺ったときも、電波をキャッチし追いかける場面に遭遇しました。私には人間一人と犬1頭で、地道な手法なのでどの程度の効果なのかと疑問でしたが、地元の声も聞かれました。「毎年、猿から畑の野菜を荒らされてきたが、今年から被害がなくなりました。猿もこな

今後の課題として、隊員は遠藤さん1人、訓練されたシェパードは1頭と限りがあり、早期の中で後継者を育て、増やしていくことが重要です。訓練された犬は訓練士仲間との相談はできるが、犬と一緒に行動する隊員がなかなか難しいとの事です。

## 山形県 エネルギー政策本格化 企業局風力発電へ参入



震災以来、エネルギー政策が重要論点になっております。吉村知事の姿勢は「卒原発」。代替エネルギーとして注目をしている「再生可能エネルギー」も積極的に用いていく方針です。そして、山形県企業局では風力発電施設の設置が決定し、私の所属する「エネルギー、危機管理特別危機管理特

別委員会」で風力発電施設「庄内風力発電株式会社(遊佐町)」を視察しました。同社は2011年に全国で2例目となる畜電池を併設した出力変動緩和制御型風力発電所を設立。風がないときにも一定の電力を供給できるメリットがある発電所です。発電機は1基2080キロワットのを7基設置、120メートルの高さの風車は壮観なものであります。同社の発電量は「遊佐町で使用する2倍の電力を



供給できる」とのことです。県は、酒田市に同市と県がともに3基、庄内地方を中心に風力発電を増やしてまいりま

## 内陸に大規模太陽光発電設置へ

県内の内陸地方において山形県企業局に「メガソーラー」建設を予定しております。村山市にある敷地4・2ヘクタールに民間事業者の公募により設置を予定しております。両地においても発電を目的とし、25年度建設に入ります。

# もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549 〒994-0013 天童市老野森3丁目4-17

もりや仙一郎 検索

新ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。

QRコードでアクセス